

日露戦争になんとか間に合い完成した「36式無線機」。しかしそれを使いこなすための通信要員が必要です。当時はまだ通信学校などはありません、  
当時横須賀田浦に設立されていた水雷練習所（後の水雷学校）で通信要員への猛特訓が開始されます。



通信術の特訓

無線機を搭載して  
通信術の特訓をする三笠  
（横須賀夏島沖）



# 海軍水雷学校

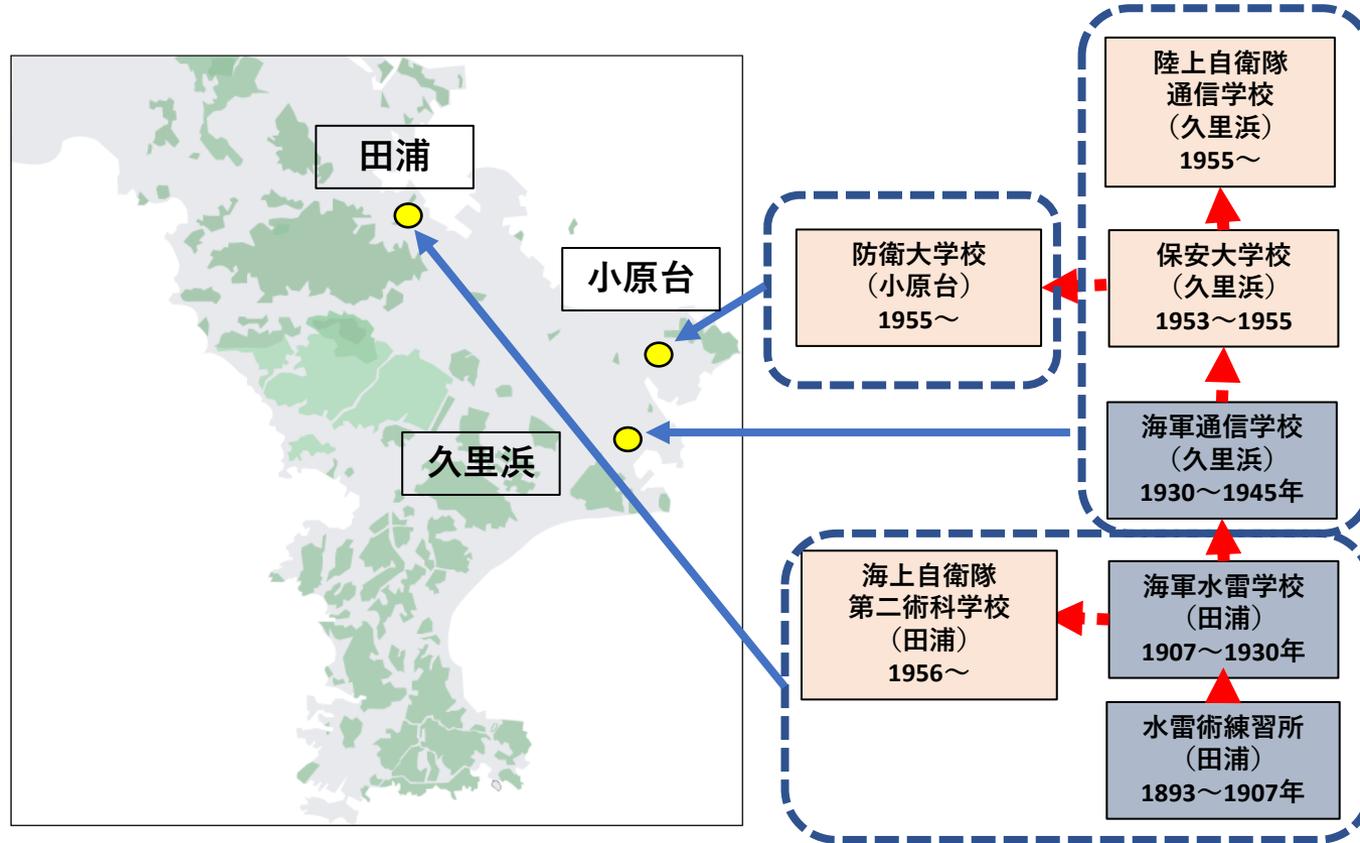


可許御府守鎮

校學雷水軍海

(勝名賀須横)

# 水雷練習所から海軍通信学校そして現在へ



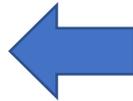
# 「ネットワークの安定的利用」と「IT開発」のさきがけ 横須賀（新たな動き）



情報の窃取



インターネットの普及



暗号を巡る戦い



無線の傍受

陸海空自衛隊  
のネットワーク  
教育のメッカ  
へ？

陸自通信学校  
(久里浜)  
1952～

海軍通信学校  
(久里浜)  
1930～1945

海軍水雷学校  
(田浦)  
1907～1945

情報を巡る戦い・・・  
それは横須賀から始まった



敵ノ艦隊見ユ、地点二〇三

36式無線機  
(横須賀造船所)  
1903年

通信教育

水雷術練習所  
(田浦)  
1893～1907